



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年10月3日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

一年の折り返し地点を迎えて・・・

中間考査も終わり、10月を迎えました。実りの秋、スポーツの秋、芸術の秋といわれる季節となりました。いろいろなことに積極的にトライしようと心高まる時です。学校は、1年間の折り返し地点を迎えたこととなります。昨年はコロナ禍の影響で、学校行事が縮小されたり、延期や中止となったりすることもありました。その中でも、尾倉中のみなさんは、日々の学校生活の中で、自分ができることを一に生懸命に取り組みながら成長してくれたと思っています。

今年は、1学期から修学旅行、SDGs 宿泊体験学習、ふれあい活動と以前の学校行事ができるようになりました。今月は体育大会です。縮小版ではなく、以前の形に少しでも近付けたいと思い、体育科の先生を中心に計画しています。

いよいよ、本年度の学校生活も後半です。3年生は卒業の進路実現をするために大いに頑張りたいと思います。2年生は、生徒会選挙もあります。尾倉中の伝統を3年生から受け継ぎ、学校を中心として飛躍する時期にしてくれることを期待しています。1年生は、中学校生活にもかなり慣れ、少しずつ「他律から自律」、言われてからするのではなく、自分で考え自主的に取り組み、「いいこと」と「悪いこと」を判断できるようになってほしいと思います。

それぞれの学年にはそれぞれやるべきことがあり、3年間の中学校生活の中でそれぞれの学年での取組を積み重ねていくことが自分を成長させることにつながります。そのためにも、一人一人が「強い意志」をもって活躍してくれることを期待しています。

今回は1・2年生向けにエールを送ります。

2年生は、中学校生活が折り返し地点です。ここから先は高校入試を意識しなければいけません。1年生も将来の希望や夢を少しずつ考える時です。中間考査や期末考査は範囲が狭い試験ですが、高校入試の試験範囲は中学3年間(もちろん小学校の内容も含まれます)の範囲です。中間考査や期末考査でも試験勉強が大変なわけですから、高校入試の勉強は直前でできるわけではありません。今の段階で何が必要かといえば、答えは1つです。「中学入学からここまで教わった内容の徹底復習」です。2・3年生になる前に「(中学入学から)ここまでの内容は大丈夫」という状態にしておかなければいけません。日頃の過ごし方でどんな違いが出るか次の例で見てみましょう。

時期	尾倉太郎さん	皿倉花子さん
夏休み	(^^)/勉強不足と思うから、時間を有効に使ってしっかり復習だ!	(^^♪3年生は遊べないから、今年の夏くらいはいっぱい楽しもう!
2年生後半戦	(^^)/復習したおかげで、学校の授業が少しずつ分かるよ。単語テストも頑張ったし、中間考査の結果も上がってきた!	(ノ口ノ)なんだか先生の言っていることが分からなくなってきた。成績も落ちてきた。勉強の仕方もある・・・どうしよう。
3年生夏休み	(^^)/いよいよ本格的受験対策だ。1・2年の復習のおかげで時間も少し余裕ができた。この調子で頑張ろう。	(´;ω;`)いきなり3年間の復習なんて無理。定期考査に加えて、実力テストもある。どうしたらいいか分からない。

すべての人にあてはまるわけではありませんが、これに近い人は出てきます。尾倉太郎さんのように「中学2年生に入学からの復習をした」場合、中学校3年生の夏は「中学2年生の秋・冬から中学3年生の夏までの復習+中学1年生の復習のやり直し(一度やっている!)」で済みます。その上で苦手な教科や、入試の過去問対策などに挑戦することもできるでしょう。一方で、皿倉花子さんは中学3年生の夏に「中学1年生から夏までの全範囲をやり直し」をする必要があります。難しいですね。(中途半端な復習になるか、途中までしか終わらないか)。そんな勉強の分かれ目が、中学2年生(中学1年生の後半)なのです。

少し勉強だけの話になりましたが、2年生の10月は「中学校生活の折り返し地点」でもあります。中学校生活の後半をどう過ごすか、卒業後の進路も視野に入れて、頑張ってみましょう。また、学校行事、部活動、生徒会活動はこれから1・2年生が中心となって活動します。さらなる成長を目指し

尾倉中 3年生 受験スローガン

おげん

夢現

～49名の若人よ、
今こそ無限の可能性を発揮するとき～



毎日の一瞬一瞬を大切に!

勉強はいつまでやってもきりが無い、やればやるほど疑問がわき、やれていない、分からない部分が見えてくる。区切りをつけてくれるのは、外部の状況である。どこかで一区切りが必要となる。入試というのも一区切り。入試でどこまで到達したか知ることができる。今までの自分を振り返り、新しい境地へ飛躍できるチャンスだ。2022年も日本列島は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。昨年も、一昨年も受験生の中には影響を受け進路変更を余儀なくされ、また、涙を呑んだ人もいたのだ。試験を受けられるというのは幸せなこと。素直な気持ちで、気を引き締め、答案用紙に向かおう。自分らしく、あなたらしく・・・。

